

アカデミー賞女優 シャーリー・マクレーン主演



私は流行をつくっているのではない

スタイルをつくっているの

COCO CHANEL

ココ・シャネル 生誕125周年

ココ・シャネル

シャーリー・マクレーン、バルボラ・ボブローヴァ、マルコム・マクダウェル

製作:Lux Vide S.p.A./バンブ・プロダクションズ&アルケミー・テレビジョン・グループ

製作:キャリー・スタイン/監督:クリスチャン・チュケイ/脚本:エンリコ・メデイオーリ/撮影:ファブリツィオ・ルッキ/編集:アレックス・ド・ロルディ/音楽:アントレア・ウエラ/美術:ピエール・ミッション/衣装:ピエール・イヴ・グロー

2008/イタリア・フランス・アメリカ合作/138分/カラー/ビスタサイズ/ドルビーデジタル/原題:COCO CHANEL/配給:ピクセス ©2008 ALCHEMY/PX ALL RIGHTS RESERVED.

coco-chanel-movie.jp

伝説の女、ココ・シャネルの真実の物語。なぜ人々はシャネルに心惹かれるのか?

時代が私を待っていたの。
私はこの世に生まれさえすればよかった。
時代は準備完了していたのよ。

20歳の顔は自然の贈り物。
50歳の顔はあなたの功績。

COCO CHANEL ココ・シャネル

ファッションへの野心と燃えるような愛をつらぬき生きた、ココ・シャネル。
彼女の行動に秘められた本当の理由とは？

世界で最も有名なブランドのひとつである「シャネル」。そのスタートは、ひとりの女性の孤独と情熱からだった。その女性の名は、「ガブリエル・ココ・シャネル」。修道院で孤児として育ちながらも、酒場の歌手、帽子デザイナー、そしてファッション界を牽引するデザイナーとしてキャリアアップしていったココ。彼女の“スタイル”はいまなお、すべての女性の憧れである。それは、彼女が発表した数々のファッションアイテムのみならず、現代にも通じる、潔いココの生き方や言葉に共感することにほかならない。

なぜ人々はシャネルに心惹かれるのか？ 多くのことが語られながらも、現実と虚構の間で揺れ動く、ココ・シャネル像。彼女の本当の姿を映し出した真実の物語が、ここに誕生した！

オスカー女優 シャーリー・マクレーンの貫禄と、バルボラ・ボブローヴァの瑞々しさで
見事に演じ分けられた、2つの時代のココ。

1954年のココを演じるのは、『愛と追憶の日々』でアカデミー賞を受賞した、シャーリー・マクレーン。まるでココが乗り移ったような強さと品格をみなぎらせファッション界に復活をとげたココをスクリーンに甦らせる。そして若き日のココは、イタリア映画界で活躍するバルボラ・ボブローヴァが熱演。また、ココの腹心であり、ビジネスパートナーのマルク・ボウシエ役を『時計じかけのオレンジ』の名優マルコム・マクダウェルが演じる。



ファッション界に革命をもたらした、数々のシャネルファッションを見事に再現！

シャーリー・マクレーン、バルボラ・ボブローヴァ2人のためにつくられた衣装はなんと70着！ シャネルを有名にした数々のアイテム“ジャージー・ドレス、カメラア、ツイード・スーツ、シャネルNO.5…”がその歴史的アイテムがつくられた背景とともに次々と登場。その華やかなスタイルは、シャネルファンならずとも存分に楽しませてくれる。

STORY 1954年、パリ。15年の沈黙を経て、復帰コレクションを開催したココだったが、評論家や顧客たちに「過去から脱却できないシャネル」と酷評されてしまう。そんな時ココは、孤児からデザイナーとしての地位を築いた日々を回想する。それは自分のキャリアだけではなく、彼女を奮い立たせ、支え、勇気づけてくれた数々の愛の思い出でもあった…。

シャーリー・マクレーン主演(『イン・ハー・シューズ』『愛と追憶の日々』他) / バルボラ・ボブローヴァ(『見つめる女』) / マルコム・マクダウェル(『時計じかけのオレンジ』『バレー・カンパニー』) 他
監督: クリスチャン・デュグイ / エグゼクティブ・プロデューサー: キラリー・スタイン、マチルド・ベルナベイ、サイモン・ウォーガン / 脚本: エンリコ・メディオリ / コスチューム・デザイナー: ビエール・イブ・グロー
2008 / アメリカ・イタリア・フランス合作 / 138分 / カラー / ビスタサイズ / ドルビーデジタル / 原題: COCO CHANEL / 配給: ビックス ©2008 ALCHEMY / PIX ALL RIGHTS RESERVED. coco-chanel-movie.jp



8月8日(土)よりロードショー

特別鑑賞券絶賛発売中! ※当日一般¥1,800のところ劇場窓口にてお買い求めの方に
先着特典 特製ストラップ付!(数量限定)

¥1,500(税込)



日比谷・東宝映画街 全席指定(初回を除く)

TOHOシネマズ シャンテ
TEL 03-3591-1511 www.tohotheater.jp